

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>山口市家庭教育支援チーム</u> (山口カベリ) URL: https://y-bambini.com
②活動拠点	山口市立湯田中学校・山口市湯田地域交流センター・山口県立防府高校佐波分校
③活動範囲	山口市立湯田中学校・小学校・山口市内全域 等
④組織体制	<p style="text-align: center;">_____ 49 _____ 人</p> 子育て支援員 9人 保育者 9人 家庭教育アドバイザー 3人 地域協育ネットコーディネーター 3人 社会福祉士 1人 保育心理士 1人 元教師 5人 元大学教授 1人 大学教授 2人 大学生 2人 校長 2人 教頭 1人 事務職員 2人 センター所長 1人 主査 1人 利用者支援専門員 1人 地域子育て支援コーディネーター 1人 市社会福祉協議会理事 1人 高校教師 1人 企業社員 2人 (資格の重複あり) 地域のみなさん 保護者のみなさん
⑤活動開始年度	_____ 平成28 _____ 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 やまぐちレーテ子育て Bambini (TEL)09064361206 (E-mail)m-sato.001@y-bambini.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> L <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <input checked="" type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> その他()
---------------------	---

<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 </p>
<p>③活動内容</p>	<p> 子育て中の親や子どもたちが地域の多様な世代の人々と交流することで、子育て家庭にそっと寄り添い、学びや育ち合いの機会が得られるような場づくりを実施している。 </p> <p> ●中学校ひろばの開設(中学生と乳幼児親子・保護者や地域の方とのふれあい交流)と運営 毎月第2第4水曜日、中学校の CS ルームにひろばを開設し、昼休みの時間(13時～13時30分)を中心に乳幼児親子や地域の方と中学生がふれあい交流を実施している。(地域と未就園乳幼児親子と中学生を交流事業で繋ぐ) </p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常ひろば(毎月1回以上 必須) <p> ノンプログラムで子育て中の親子や地域のみなさんが気軽に立ち寄り、中学生との交流ができる居心地のいい空間を設け、多世代交流を実施。 </p> <p> あそびや学び、食事、カフェができるような環境の中で場を管理・運営する。 (地域子育て支援拠点がそのまま入ったイメージ) </p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援講座(不定期実施) <p> 中学校教師や自分のスキルを活かしたい地域の方が講師となり、ひろば開催時に子育て支援講座を実施する。 </p> <p> (参加者は乳幼児親子と地域のみなさん・中学校や小学校で教室がしんどいお子さん発達支援学級のお子さん等) </p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子ふれあい企画 <p> チームの保育士有資格者と生徒が中心となって企画し、親と子のつながり(愛着関係を育む)を大切に親子ふれあいやあそびと親同士の仲間づくりの交流アクティビティをお昼休みの中学生とのふれあい「中学生のおにいさん、おねえさんとあそぼう!!」の中で実施する。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てなんでも相談 <p> ひろば実施の日は全て乳幼児・小学生・中学生・高校生の保護者を対象とした相談対応が可能。ケースにより家庭訪問を実施している。 </p> <p> ●SABA 高ひろば(年4回) 「高校生のおにいさん、おねえさんとふれあおう!!」 高校で乳幼児親子とのふれあいひろばを実施。 高校生と企画し、家庭科授業の中で運営。SABA カフェ(地域交流)との連携で地域の方やPTA・教職員のみなさんと乳幼児親子とのふれあい交流後、高校生が作ってくれた窯焼きのピザを一緒に食べたり、学校農園の野菜収穫やとれたてのスイカを割って野外で豪快に食べたりするなど、地域の方も含めた楽しいふれあい交流となっている。 </p> <p> 未来のパパ・ママ応援講座やライフワークセミナー・赤ちゃんとのふれあい体験講座等、親準備のプログラムを実施する。 </p> <p> ●「あそびの森 maru」の開設(長期休みを除く毎月第1・第3水曜日) ～地域のみなさんと子どもたちのふれあいひろば～ </p>

	<p>地域の小学校児童を対象としたあそびの体験や学習サポートの場を地域交流センターで毎月2回(全16回)実施している(地域内外の不登校児童親子参加も可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習活動 全学年 <p>宿題をする・本を読む・さまざまな体験から学ぶ意欲を育みます。</p> <p>* 選任講師が個別で苦手なところを教えるサポートをします。</p> <p>学習支援が必要なお子さんの特別プログラムを実施(通級クラスやレベル対応に特化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的なあそびの創造と体験活動 1年生～6年生 <p>作る・描く・表現するなどの文化活動や自然の中で身体を動かしてあそび野外遊びを通して子どもたちが主体的にあそびを発想し創造する力を培います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育体験や交流活動(すろーふード・すろーらいふ) <p>地域の方や専門家の方とのおやつ作りによる食育体験や多世代交流・グローバル体験交流で人間関係づくりやコミュニケーション能力を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森カフェ・maruトーク(地域を越えての参加も可) <p>保護者が Mytea グッズ持参で月1回 maru の実施日におしゃべりサロンを実施している。教育相談の場や子育てを共有する場となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修の場 ・将来教育・保育に携わる大学生や社会人の経験と体験の場として機能するようにコーディネートしている。 ●ミーティング ・活動実施前後に、活動拠点の学校の家庭教育支援員等が集まり、情報共有や、事例検討、企画などについて話し合いの機会を持っている。 ●学校内子育てひろば開設の推進とコーディネート ・中学校や高校に「乳幼児とのふれあいひろばの開設」を提案し、地域と学校の連携の仕組み作りや、親準備性の体験講座・乳幼児親子とのふれあい交流を学校内子育てひろばとして年4回の企画を提案し実施できるように推進する。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のみなさんや保護者が気軽に立ち寄りかわり合える世代を越えた交流の場となっている。子育ての悩みや相談も自然に話し合え、その場が地域の居場所として子育てや家庭教育を支え合える場、地域と子育て家庭が繋がる場となり、学校と地域連携の仕組みづくりが図られている。 ・地域の居場所を学校内や地域交流センターに設置することで、大人も子どももみんなが育ち、育て合い、学び合える関係性が自然に生まれ、地域のもの・こと・人環境や資源を有効に取り入れた体験活動を継続して実践していくことで、地域の中の子育て家庭への見守りのまなざしが更に増えてきており、多様な団体や組織、大学や企業などと協働することで家庭教育支援活動への主体的な参加者やより多くの協力体制が地域の中でできてきている。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (NPO 法人)</p>
------------------------------------	---